

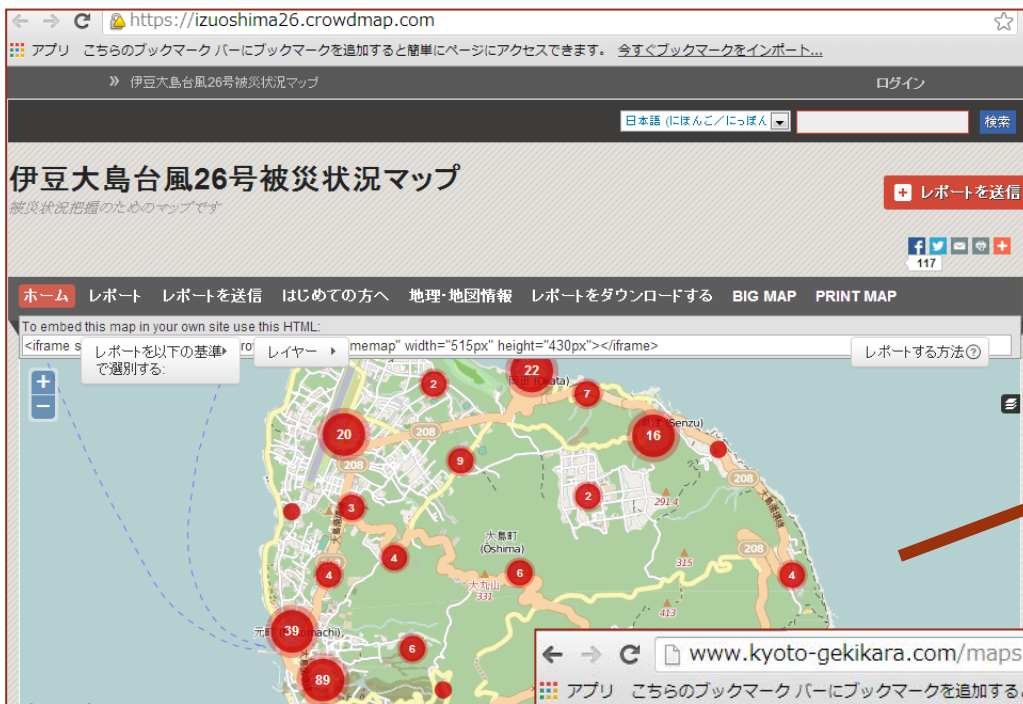
GIS上級技術者資格制度を より良くするための提言

久保田 優子

はじめに

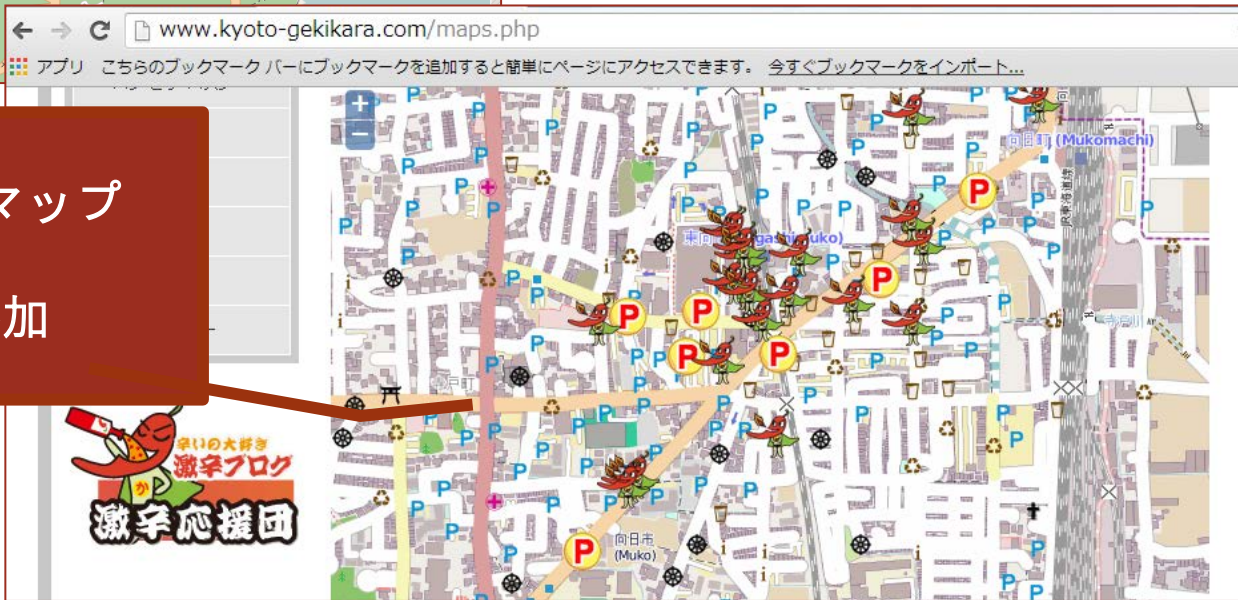
■ 自己紹介

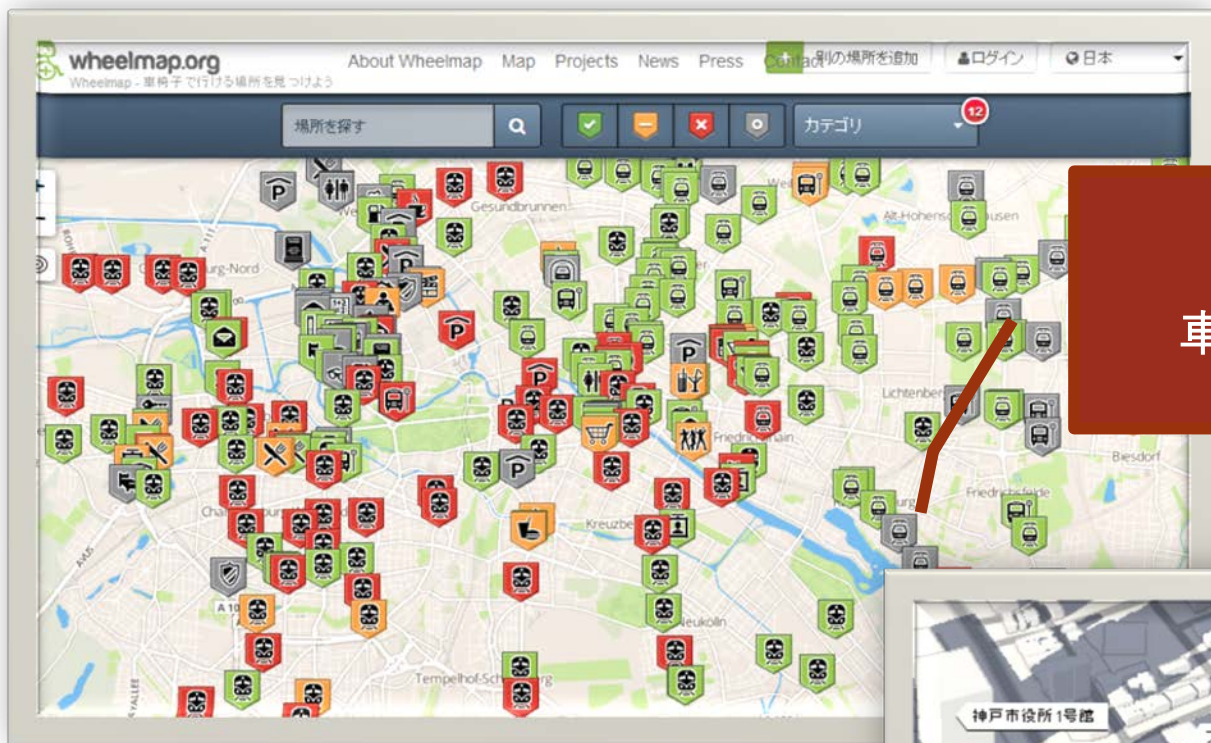
- GIS上級技術者歴： 2年4ヶ月
※更新ポイントもすでに取得済
- 仕事内容：
GISソフトのトレーニング、サポート・コンサルティング、教材作成、データ作成（地図・DB）、PM、販促支援…他
- GISのイベントやボランティアに積極的参加中
 - GIS学会東日本大震災復興支援EMT活動
 - OpenStreetMap Foundation Japan（事務局）



伊豆大島クライシスマッピング
被災情報、町の詳細を
マッピング

京都府向日市商店街マップ
町おこし、住民参加





Wheel Map
車いすでアクセスできる
施設マップ

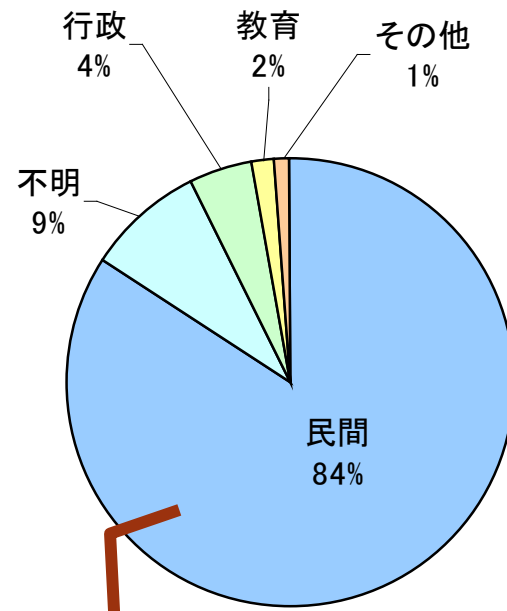
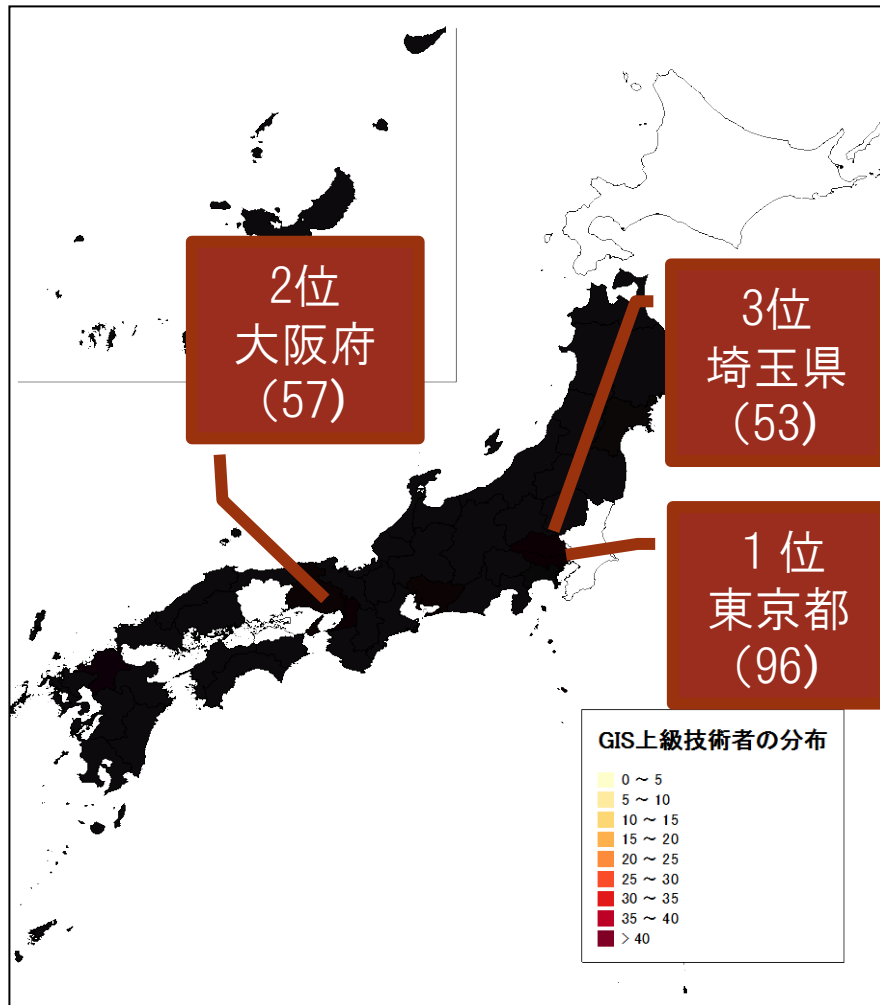
OSMを使った3Dモデルの作成



GIS資格認定制度の現状

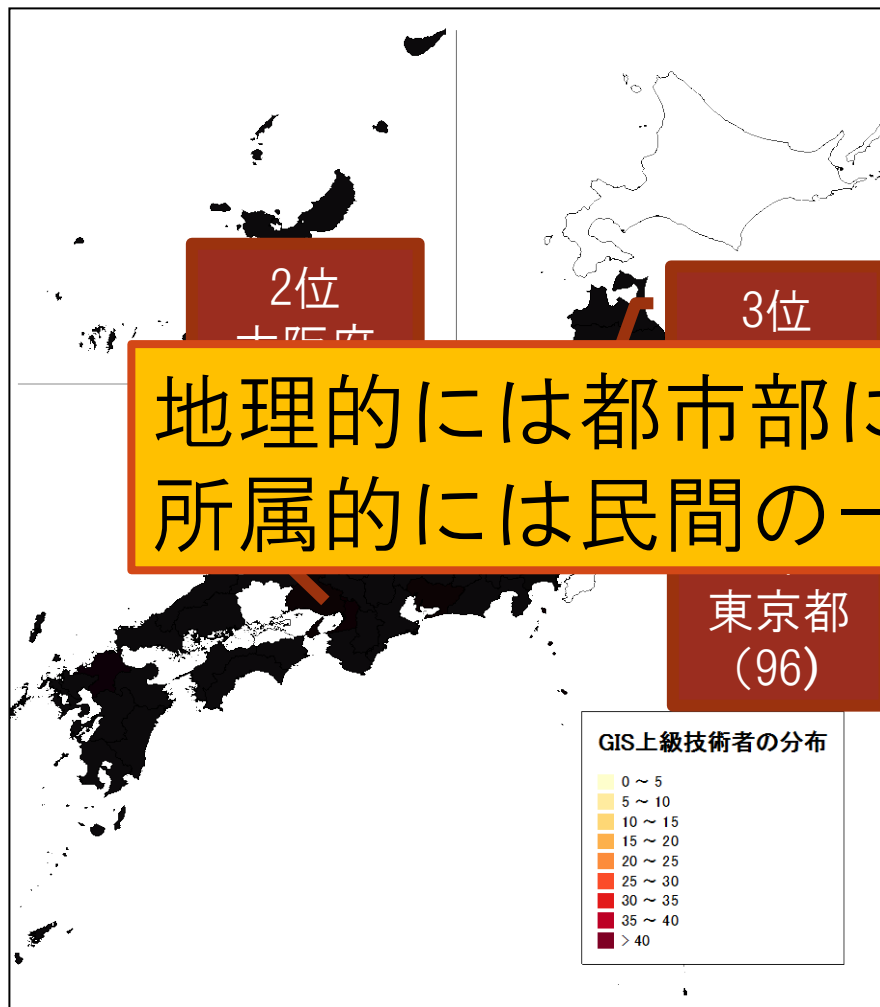
※詳しくは、後の大場様の発表で後述されます

現状① — GIS上級技術者

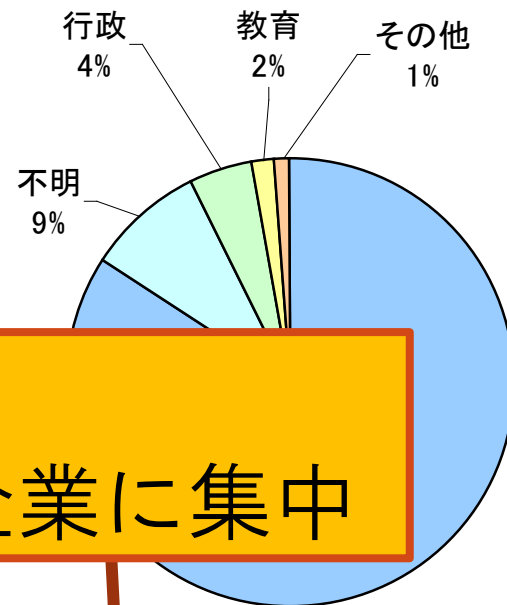


48%が所属団体の上位5社に所属

現状① — GIS上級技術者



地理的には都市部に集中
所属的には民間の一部の企業に集中



48%が所属団体の上位
5社に所属

現状②



■ GIS上級技術者

- 更新対象：81人
- 更新申請者：37人

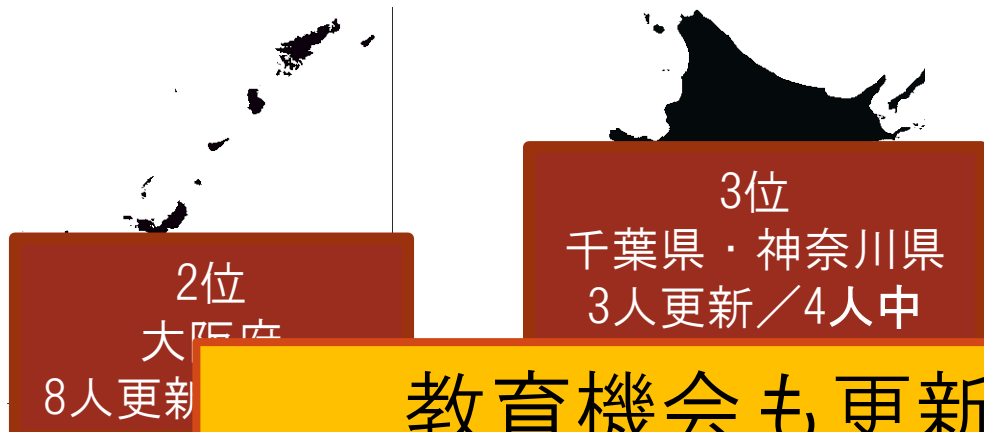
■ 教育認定プログラム

- 有効プログラム：30件
（うち更新済：9件）
- 無効プログラム：17

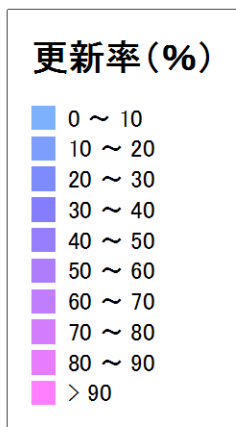
■ 懸念事項

- 地方開催が少ない
- 単発系が多い など

現状②



教育機会も更新率も低い！
大阪は更新率が安定？



■ GIS上級技術者

- 更新対象：81人
- 更新申請者：37人

- 無効プログラム：17

■ 懸念事項

- 地方開催が少ない
- 単発系が多い など

現状③ーアメリカでは



- GISP (GIS Professional)
 - 登録者数5505人
 - 海外にも取得者
(カナダに200人)
 - 所属団体別ベスト10位では民間団体が多いが、行政機関の登録者も多い
→高転職率に起因？

団体種別	所属団体名	人数
民間	URS Corporation	66
行政	US Army Corps of Engineers	42
民間	Michael Baker Jr Inc	36
民間	Esri	36
民間	Stantec	32
民間	CDM Smith	32
行政	South Florida Water Mgt District	29
民間	Atkins	29
民間	AECOM	27
民間	Merrick & Company	25

- 教育プログラム
 - 300件以上？

問題点

■ 教育機会の地域格差

- 地域格差のために、教育認定プログラム以外のイベント・講習会もポイント計上が可能に
- それだけでは格差の解消は難しい

■ 更新率の低さ

- 資格の意義を見出せなかったから？
- 更新に必要なポイントを貯めることができなかったから？

■ 官界・学界の低参加率

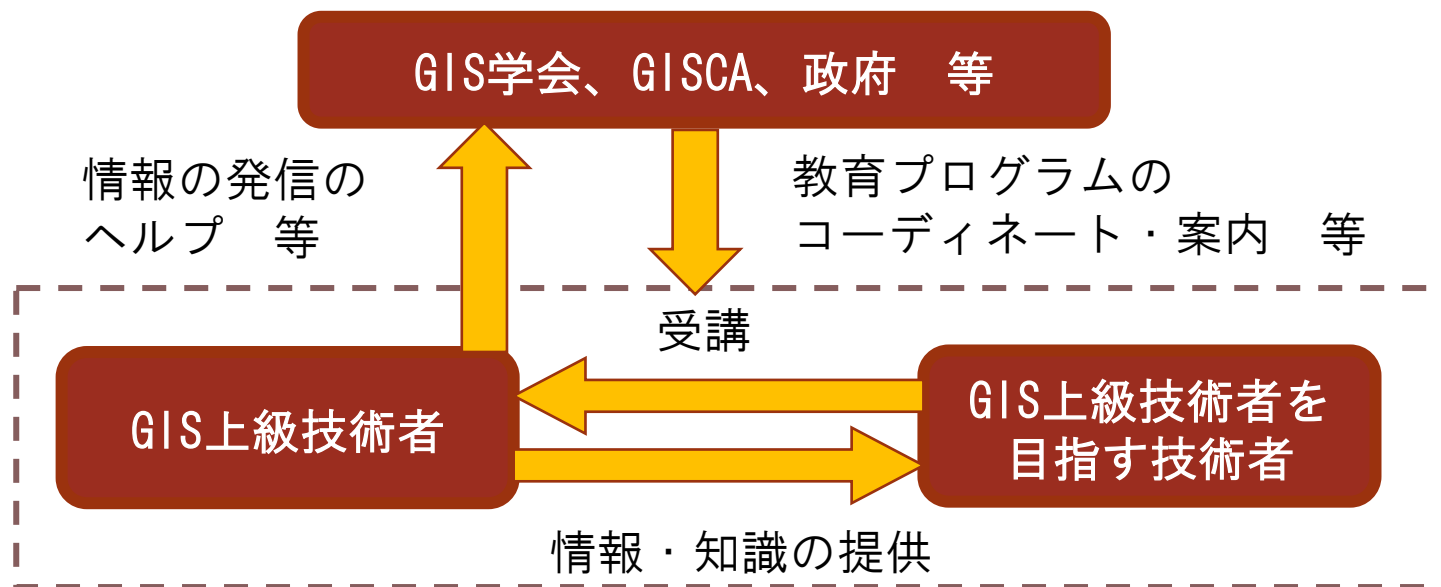
- 民間からの参加者が多いだけかもしれないが・・・

本題の提案

- ・好きな時に好きなことをやってGIS上級技術者を目指す
- ・実践的な技術と知識を身に付ける教育企画を
- ・インプットだけでなくアウトプットができるイベントを

提言①ー 社会人向け教育制度の発達

- 「GISブラッシュアップセミナー」方式の導入
 - GIS上級技術者が、GIS上級技術者をを目指す技術者を教育する機会を増やす
- オンライン教育システムの導入
 - E-ラーニング教材の開発を推進する
 - 好きなときに好きなことを好きな場所で学習する



提言①ー 社会人向け教育制度の発達

■ E-ラーニング

- FOSS4G を活用した衛星データの利用のためのオープン・リソースの構築

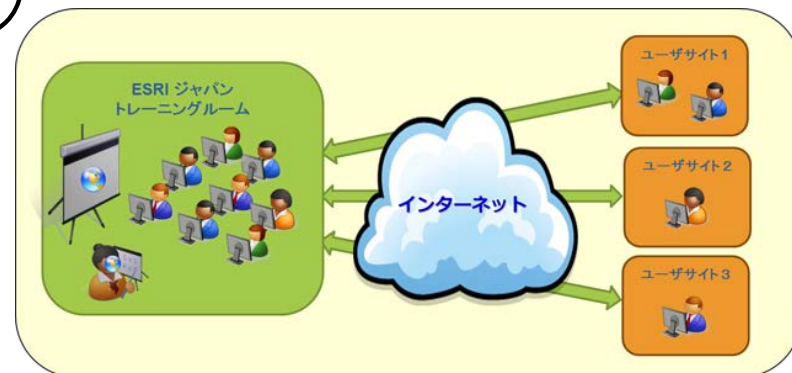
<http://foss4g.kii.gsc. osaka-cu. ac. jp/moodle/>

- 米国ESRIのWebコース トレーニング

<http://training.esri.com/gateway/index.cfm?fa=search.results&CourseTypeID=1>

■ リモートライブトレーニング

- インターネットを介してトレーニングに参加
- 移動コスト不要



ESRIジャパン (株) HPより

提言②ー 実務以外の経験の扱い

■ キャリア中断について考慮

- GISを使わない部署や技術部門以外への異動
→ 経験達成度が条件を満たさない可能性あり
- 実務以外の活動でも「経験」を積むことができる
例) 自宅でできるプログラミング、データ作成
- 実務に近い経験ができるイベント・アワードの扱い

イベント	内容
アイデアソン	テーマを定めた上でチームごとにアイデアを出し合い、それをまとめていくイベント
ハッカソン	プログラマー、デザイナー、データ作成者などがチームを結成し、一定時間内にアプリ（またはデータ）を作るイベント
エディットソン	データの編集を行うイベント

提言③ー技術資格の見直し

- 技術的スキルが国際比較できるように
 - 資格取得に必要なポイント数は変えない
 - 日本の事情にあった教育制度やルールを設ける
- 資格取得の維持のモチベーションを上げるために
 - 取得ポイントを公開・管理する
 - 1ランク上の資格を新設する
- 実践的な知識と技術を身に付けるために
 - アウトプット型の教育プログラムを用意する

「見守る」より「貢献」「参加」を

ご清聴ありがとうございました